

郵便はがき

541-8790

547

料金受取人払郵便

大阪東局
承認

685

差出有効期間
平成27年6月
30日まで
(切手不要)

大阪市中央区南本町2-6-12

株式会社ダイサン
経営企画室 経営企画課 行



キリトリ線

株主番号(※必須)		
フリガナ		年齢
ご芳名または 貴社名(※必須)		歳
ご職業	男性	女性
ご住所 (〒 —)		

株主メモ

事業年度 毎年4月21日から翌年4月20日まで

定時株主総会 毎年7月

基準日 定時株主総会・期末配当・・・毎年 4月20日
中間配当・・・・・・・・・・・・・毎年10月20日

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物の送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店
および全国各支店で行っております。

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主
様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



DAISAN® Report

第40期ご報告書

2013年4月21日▶2014年4月20日

株式会社ダイサン

証券コード：4750

「モノ」から「ヒト」への転換

従来、足場に関する業態の多くは、足場部材「モノ」をレンタルするだけで完結することがほとんどでしたが、当社は、足場部材だけでなく、足場を組み立てるスタッフ「ヒト」も現場へ派遣し、品質の高い足場を提供するビジネスモデルを業界で初めて構築し、安全・安心・感動の足場づくりに注力して参りました。



足場施工のプロ集団を育成・提供できる仕組みづくり

①厚生労働省認定の「ビケ足場施工士」

- ・厚生労働省認定の社内検定制度。
- ・高品質でムラがない足場施工サービス提供のため、施工スタッフの技能を保証する厚生労働大臣が認定を行う資格制度。
- ・一級・二級の2種類が存在し、合格者にとっては、いわば“**プロの証**”となる。



②施工スタッフ資格制度

以下の6段階の資格に施工スタッフを割付け、上位の資格を目指して教育を実施。スタッフは自分の技量がどの位置にあるかを把握可能。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. マスター [最上級] | 2. シニアチーフ |
| 3. チーフ | 4. シニアアシスタント |
| 5. ジュニアアシスタント | 6. ビギナー [初級] |

「ヒト」を中心とした付加価値の提案

- ・業界初の品質保証と災害補償付
- ・業界初のBI（ブランドアイデンティティ）の導入
- ・ハウスメーカー等、お客様に対しての足場研修会の開催



車両・作業服等を統一

施工作業標準化のための取組み

- ・業界初のISO取得による施工品質の標準化
- ・施工品質向上のための社内育成プログラム（技術とマナーの向上）
- ・安全第一の教育（体験的安全教育の定期的実施）

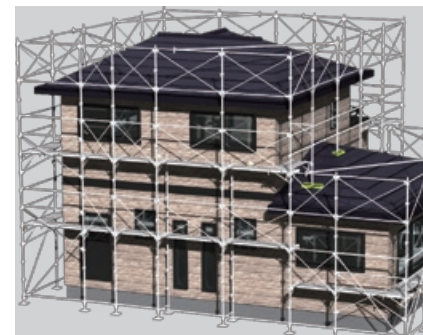


ビケ足場は、戸建向けだけではなく、中層向けにも対応

戸建向け足場

新築注文住宅からリフォーム工事まで

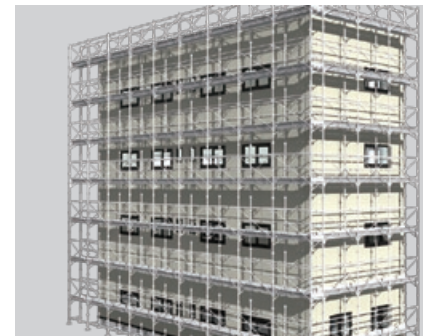
当社では、戸建向け足場については、『ビケ足場BX工法®』により、屋根上の物損・汚損クレームの防止、施工時の騒音軽減、作業中の周辺への安心感を提供し、トラブルの未然防止に努めております。



中層向け足場

マンション、工場、店舗などの大型建築物にも対応

中層向け足場とは、一般の住宅より高さや大きさのある建築物用の足場です。当社の中層向け足場は、改正労働衛生規則、手すり先行工法に関するガイドラインに対応し、十分な安全性を兼ね備えた足場となっております。



ビケ足場BX工法®

低層にも中層にも使用できる手すり先行工法に対応したビケ足場。当社は業界に先駆け、手すり先行工法を足場施工での標準化として実施致しました。





代表取締役社長

三浦 基和

Profile

経歴 1949年生まれ
1974年当社入社
1982年より
当社代表取締役社長
趣味 登山、読書

人が育つ組織づくりを推進し、 施工品質の差別化を より徹底していきます。

● 今期の業績のポイントについて 教えてください。

当 事業年度における業績につきまして、売上高、営業利益とも、平成12年3月の上場以来、最高額を更新することができました。要因としましては、景気回復の傾向が鮮明になり、消費マインドが上昇しつつある中、消費税増税に伴う戸建住宅に対する需要の増加や、住宅ローンの低金利が継続していることも相俟って、住宅着工件数が堅調に推移したことにあると考えられます。

当社の取組みとしとしても、施工サービス事業においては、更なる施工品質の向上を目指した付加価値の提案を推し進め、施工単価の改善に繋げるとともに、取引先企業からの受注量確保に努めました。製商品販売事業においては、販売先企業の受注動向を把握すること等により、積極的な販売活動に繋げ、さらに受注量の増加へ対応できるよう生産効率を高めて参りました。

以上の結果、当事業年度における売上高は8,976百万円（前年同期比20.0%増）となりました。利益につきましては、営業利益1,511百万円（同101.5%増）、経常利益1,559百万円（同103.5%増）となり、当期純利益は941百万円（同106.7%増）となりました。

セグメント別の業績について、施工サービス事業では、売上高5,956百万円（前年同期比9.3%増）、売上総利益1,782百万円（同26.1%増）となり、製商品販売事業では、売上高2,909百万円（同51.7%増）、売上総利益1,186百万円（同59.5%増）となりました。その他につきましては、業務受託料および保険代理店収入等で構成されており、売上高は111百万円（前年同期比0.4%減）、売上総利益は72百万円（同0.9%増）となりました。

● 業界の動向と、成長戦略について 教えてください。

業 界においては、外部からの受注環境はこれまでのことを考えると、会社が成長していく上ではまさに好機到来と言える状況であります。この状況で大事なことは、一時的な好業績で浮き足立たないということではないでしょうか。会社が持続的・発展的な成長を続けるためには、今こそ、しっかりと地に足を着けた事業活動を行っていかねばならないと思います。

当社としては、これからの成長のため、目標とする利益を常に確保できるよう、施工スタッフ・営業スタッフだけでなく、全社員が常に高品質、高付加価値のサービスを提供できる体制を目指すとともに、差別化戦略を徹底し、経営力、組織力を高めて、環境変化に機敏に対応できる組織体の確立を目指して参ります。

● 来期の経営方針と取組みについて 教えてください。

当 社は来期の経営方針として、「人が育つ組織づくりを推進し、差別化戦略を徹底して、日本一の施工サービス会社になる」と掲げております。まず、人が育つ組織づくりとは、組織力の源泉である人材について、施工力の増強のみならず、マネジメント、営業、業務、それぞれの力を向上させるための環境づくりを推進し、組織力を高めることを目的とします。また、差別化戦略とは、これまでの事業活動において培ってきた個別の取組み、方針を複合化、総合化することで、他社が簡単に真似できない当社の強みを積極的に顧客へ提供することであります。

来期は、当社が施工サービス会社として成長・発展を行う上で大事な事業年度になると位置付けております。

● 最後に来期の活動のポイント 教えてください。

施 工サービス事業では、全ての現場に厚生労働省認定の「ビケ足場施工士」を派遣し、全現場有資格者施工体制を確立しております。来期、リフォーム市場向け、中層向けの足場について、より受注量を増やすべく、営業力の強化を図るとともに、より高い施工品質の向上を目指し、「ビケ足場施工士」の資格取得者を増やすとともに、上位資格である一級の取得者も増やして参ります。

製商品販売事業では、販売先企業の施工品質向上に繋がる提案営業を積極的に進め、販売に繋げるとともに、市場ニーズに応える新製品の開発を推し進めて参ります。

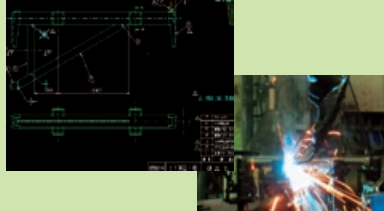
ダイサンのシナジー効果

DAISAN® 株式会社ダイサン

ダイサンには、「製品開発・製造・販売」と「施工サービス」を行う2つの事業部門が存在することにより、シナジー効果を生み出しています。
さらに、「ビケ会ネットワーク」を通じ、多くの会員企業とのシナジー効果を高めています。

情報の共有化

製品開発・製造・販売

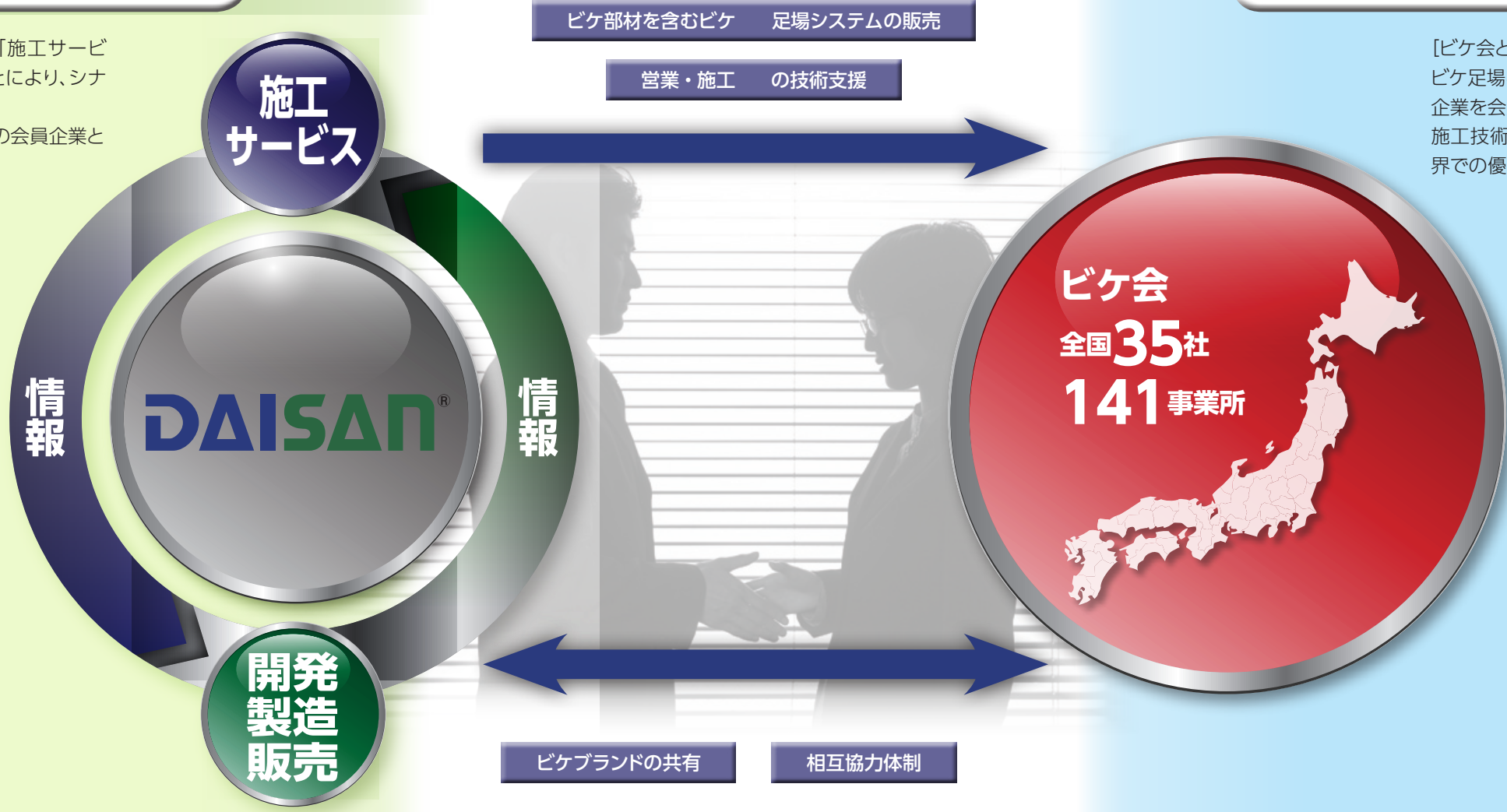


施工サービス



ダイサンネットワーク

全国25ヶ所のサービスセンターと
5ヶ所の整備工場



ビケ足場 ビケ会ネットワーク

[ビケ会とは]
ビケ足場を保有し、ビケブランドを共有化する
企業を会員会社としたネットワーク組織です。
施工技術、営業情報を共有化することで、業
界での優位性を高めています。



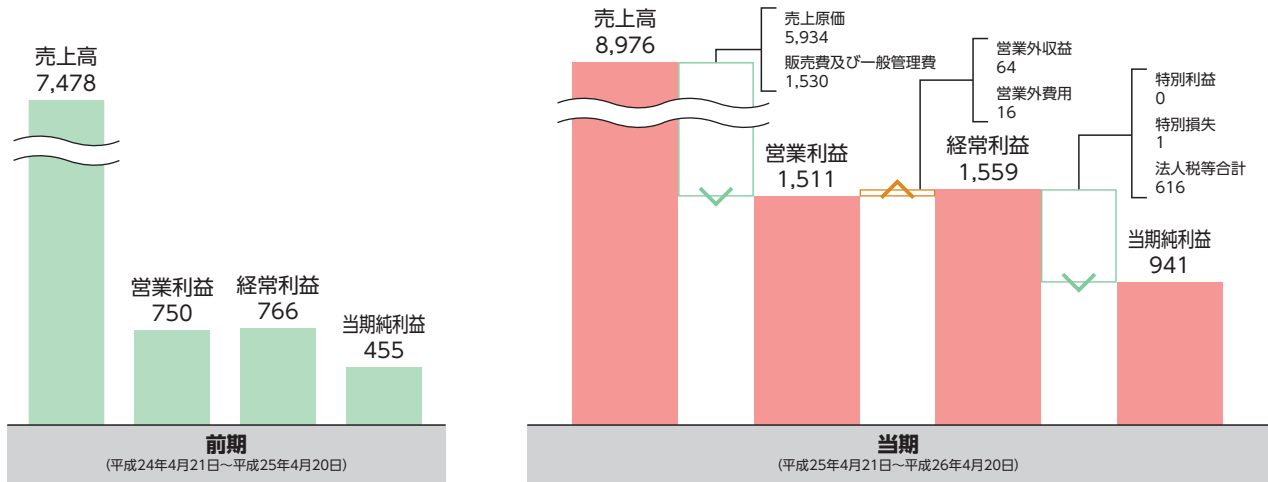
定期的に、ビケ会でビケ足場施工
士検定試験を行い、施工技術の向
上を図っております。

財務諸表

Non-Consolidated Financial Statements

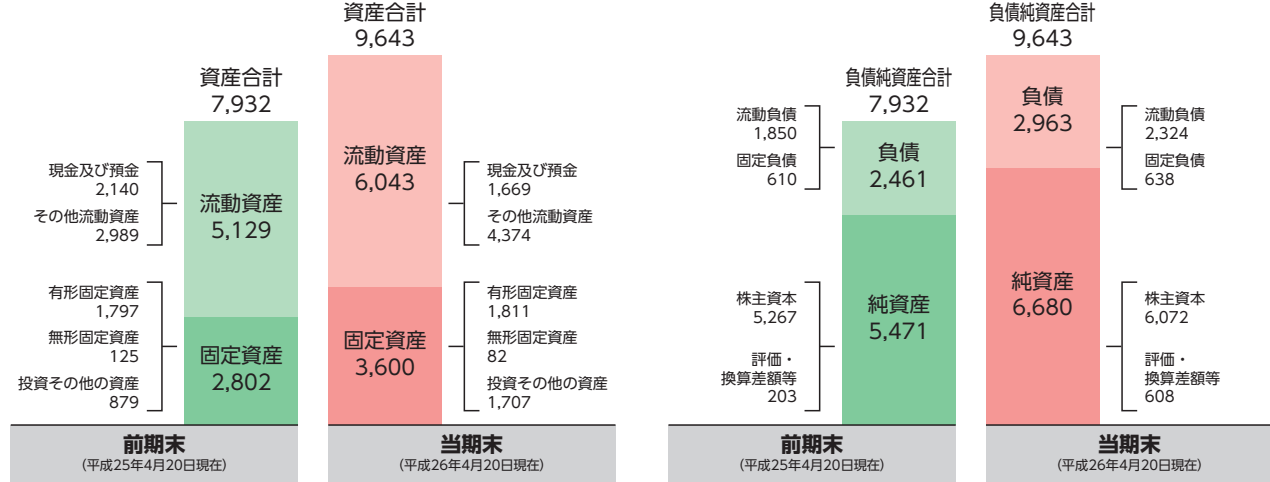
損益計算書の概要

(単位:百万円)



貸借対照表の概要

(単位:百万円)



ポイント

・流動資産の状況

当事業年度末における流動資産の残高は、前事業年度末より913百万円増加致しました。
その主な要因は、電子記録債権が619百万円、有価証券が797百万円、賃貸用仮設材が144百万円増加した一方、現金及び預金が471百万円、売掛金が187百万円減少したこと等によるものであります。

・固定資産の状況

当事業年度末における固定資産の残高は、前事業年度末より797百万円増加致しました。
その主な要因は、投資有価証券が824百万円増加したこと等によるものであります。

・流動負債の状況

当事業年度末における流動負債の残高は、前事業年度末より474百万円増加致しました。
その主な要因は、支払手形が190百万円、未払法人税等が240百万円増加したこと等によるものであります。

・固定負債の状況

当事業年度末における固定負債の残高は、前事業年度末より28百万円増加致しました。
その主な要因は、繰延税金負債が223百万円増加した一方、社債が170百万円減少したこと等によるものであります。

・純資産の状況

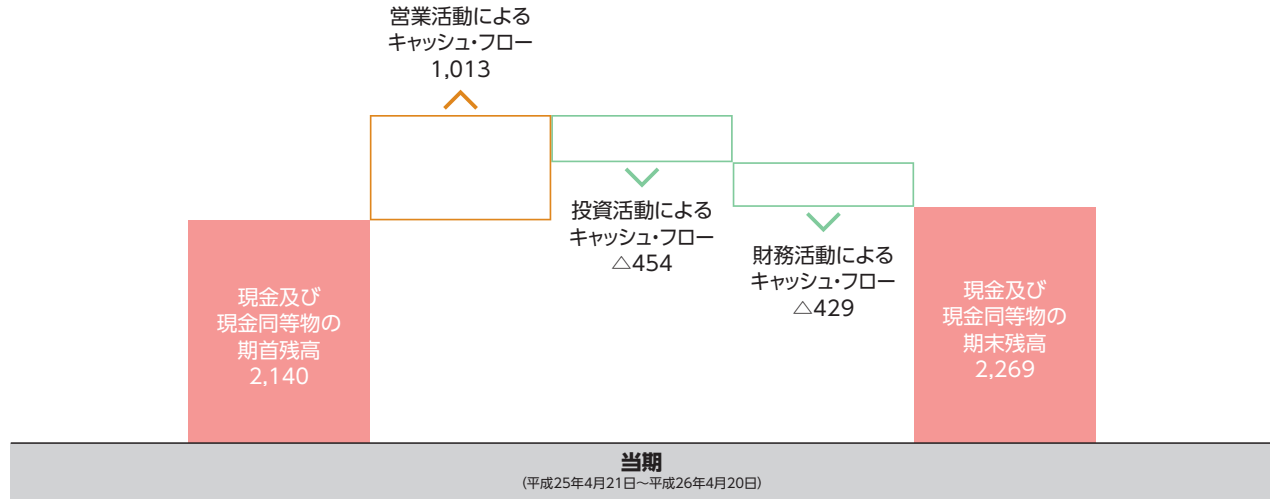
当事業年度末における純資産の残高は、前事業年度末より1,209百万円増加致しました。
その主な要因は、当期純利益941百万円を計上したこと、その他有価証券評価差額金が404百万円増加したこと等によるものであります。

・有利子負債の状況

当事業年度末における有利子負債の残高は、前事業年度末より293百万円減少し、351百万円となりました。
その要因は、1年内償還社債を含む社債が260百万円、長期借入金が33百万円減少したことによるものであります。

キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



会社情報／株式情報

Corporate Information／Stock Information

会社概要 (2014年4月20日現在)

商号 株式会社ダイサン DAISAN CO., LTD.
設立 昭和50(1975)年4月1日
本社 大阪市中央区南本町2-6-12
サンマリオンNBFタワー3階
資本金 566,760,000円
従業員数 371名(112名)
臨時雇用者の人員を()外数で記載しております。

役員構成 (2014年4月20日現在)

代表取締役社長 三 浦 基 和 取締役 石 川 勝 久
専務取締役 藤 田 武 敏 常勤監査役 森 義 明
取締役 上 村 信 太 郎 監 査 役 蓑 薫
取締役 岡 光 正 範 監 査 役 石 光 仁
取締役 木 川 守 永

平成26年6月3日付で取締役の地位および担当を以下の通り変更しております。
・取締役岡光正範は、取締役から常務取締役に就任致しました。
・取締役木川守永は、製造部部长兼製品開発部部长に就任致しました。

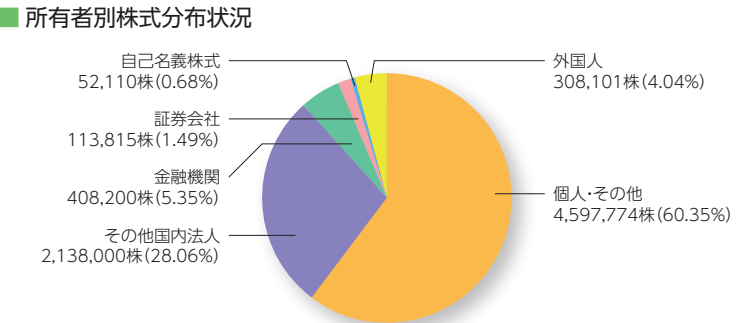
株式情報 (2014年4月20日現在)

発行可能株式総数 26,000,000株
発行済株式総数 7,618,000株(自己株式を含む)
株主数 1,073名(議決権を有する株主の総数)

大株主の状況(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
三 浦 基 和	1,248,000	16.49
エスアールジータカミヤ株式会社	1,061,000	14.02
ダイサン取引先持株会	427,700	5.65
有限会社和顔	424,000	5.60
大 原 春 子	343,200	4.54
金 沢 昭 枝	275,200	3.64
三 浦 民 子	268,300	3.55
ダイサン従業員持株会	230,060	3.04
大阪中小企業投資育成株式会社	200,000	2.64
三 浦 宣 子	128,000	1.69

(注)持株比率は自己株式(52,110株)を控除して計算しております。



株主アンケートにご協力ください

当社では、アンケートにてお寄せいただいた貴重なご意見を今後の経営・IR活動に反映致したいと考えております。
是非、右記のアンケートへのご協力をお願い致します。

ホームページのご案内

<http://www.daisan-g.co.jp>

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、事業活動やその動向を紹介しております。当社をよりご理解いただくためにも是非アクセスしてください。

トップページ



投資家情報ページ

株主の皆様へアンケートのお願い

アンケート項目

1. 弊社株式を保有された動機をご回答ください。(複数回答可)
☐ 経営理念 ☐ 業界の成長性 ☐ 財務内容の安定性 ☐ 収益性
☐ 株価の上昇期待 ☐ 知り合い・証券会社に勧められて
☐ 株主還元(配当・株主優待) ☐ その他
2. 今後の弊社株式について、どのような方針をお持ちですか?(1つだけ)
☐ 買い増し ☐ 継続保有 ☐ 売却
3. 弊社に望まれる情報提供の手段は何ですか?(複数回答可)
☐ 弊社ホームページ ☐ 郵送による印刷物 ☐ 電子メール
☐ 株主通信への記載 ☐ IR公告 ☐ 投資家向け説明会 ☐ 施設見学会
☐ その他 ()
4. 弊社ホームページについてお聞かせください。(複数回答可)
◆見る頻度 ☐ ほぼ毎日 ☐ 2～3日に一度 ☐ 週に一度
☐ 月に数回 ☐ 時々
◆見やすさ ☐ 非常に見やすい ☐ 見やすい ☐ 普通 ☐ 見にくい
◆内容 ☐ 非常に良い ☐ 良い ☐ 普通 ☐ あまり良くない
☐ 良くない
◆内容の見直し ☐ 必要 ☐ 不要
5. 4の質問で、ホームページの内容見直しが必要とご回答になられた方にお聞きします。どの点の見直しが必要か具体的にお教えてください。
6. 今後、弊社に期待すること、ご提案事項等がございましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

キ
リ
ト
リ
線